

甲佐町オレンジ通信

令和 7 年 10 月 甲佐町地域包括支援センター

第 5 号(通巻第 105 号)



秋は、稲刈り(米農家を大切に
思う)、認知症や介護を考える時
期なのです。

甲佐町の田んぼに美しい稲穂が並びました。もう稲刈りの時期ですね。9 月はアルツハイマー月間でした。

日本ではアルツハイマー病の新薬としてレカネマブが承認済みです。アルツハイマー病の原因であるアミロイドベータたんぱくを除去し、進行を遅らせる効果が確認され、早期患者に使用可能です。しかし、副作用管理も重要です。他にも薬はいくつかあります。認知症は根治が難しい病気ですが、症状を抑えることは可能です。

まず、身近な認知症の専門医にかかることが重要です。

受診を検討すべきサインは次のとおりです。

直前の出来事を繰り返し尋ねる。慣れた道で迷う。買い物や計算で戸惑う。財布・鍵などをよく失くす。片付けられない。言葉が出にくい。会話がかみ合わない。意欲低下や無関心、うつ状態のような変化がある。家族や周囲が「いつもと違う」と強く感じる。

生活に支障が出る物忘れが見え始めたら、受診の目安です。診断が早いほど、内服は効果的と言われています。相談先も医療や介護の窓口や地域包括支援センターなどいろいろあります。

昔とは違い、周囲に隠すような病気ではなく、地域の皆さんと支え合う時代となっています。

ちなみに11月11日は「介護の日」です。日頃、介護を担ってくれている家族や介護者にお礼を伝えましょう。介護を担ってくれている方を気分転換にお茶に誘ったり、プレゼントをあげてはいかがでしょうか？

甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114